

安全・安心な街づくり・お店づくりへ 認知症サポーター養成講座を開催

イトーヨーカドー

2015/7/13

7-SEIYUN&AI HLDGS.

CSR アクション

福島県とイトーヨーカ堂が締結した「福島県地域の高齢者等の支援に関する協定」の活動の一環として、6月16・19日の2日間、イトーヨーカドー平店において認知症サポーター養成講座を開催しました。

イトーヨーカ堂では、福島県と連携・協力した安全・安心な街づくりを推進するために、従業員が認知症について正しく理解し行動することで、認知症の方とその家族が安心して買い物していただくお店となるよう努めています。また、従業員は地域に暮らす市民です。私生活においても地域住民と一緒に支え合う街づくりの一役を担うことが出来るはずです。

当日は、職業体験中の地元高校生の皆様にも講座を受講していただき、認知症への理解を深めていただくとともにイトーヨーカドーの取り組みを紹介しました。

今後も自治体などと連携し、取り組みを強化してまいります。



イトーヨーカドー 平店
副店長 戸田 和利

イトーヨーカドー平店において
認知症サポーター養成講座実施

従業員115名が受講



認知症への理解を深め
お客様に安全・安心を
お届けします。
また、地域の住民として
誰もが安心して暮らせる
街づくりを進めます。



イトーヨーカドー従業員、警備員、清掃員、テナント従業員が参加し、適切な対応についてグループワークの中で話し合いました。



サービスカウンターでのPOP掲示



「買い物弱者支援事業 あんしんお届け便」販売員も認知症サポーター養成講座を受講し、移動販売車店内にPOPを掲示しました。

関連情報

認知症サポーター・キャラバン：<http://www.caravanmate.com/whats.html>